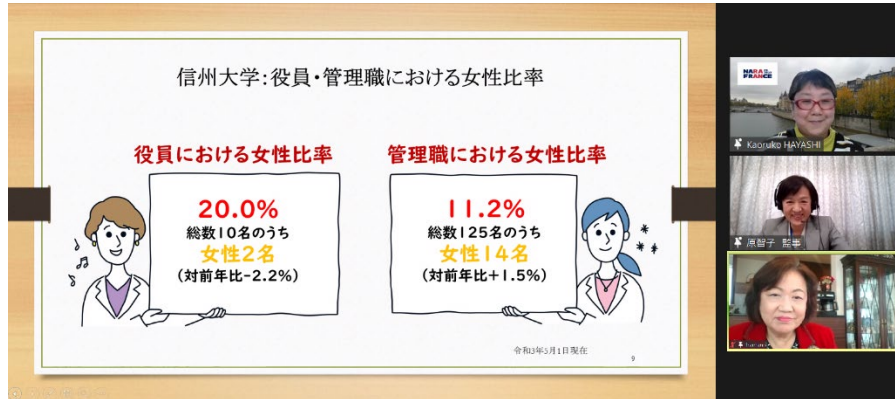


大学名 信州大学(男女共同参画推進センター)

第66号 特集テーマ「女性研究者の育成・活躍」

表題 男女共同参画推進セミナーの開催と研究補助者制度の見直し(令和5年度施行)



毎年、学内外の方々を対象に信州大学男女共同参画セミナーを開催しています。令和3年度はZoomによるオンライン形式の開催で、講師には株式会社NARAFRANCE代表の林薫子氏をお招きし、本学の原智子監事と、浜野京理事との鼎談形式で「～自分らしい生き方、働き方のために～」をテーマに、女性経営者、初の管理職・役員世代の目線、それぞれの立場でお話をいただきました。

参加者は「変えていくには、声にしていくことが大切ですが、一人ではできなくても、大勢ならできるかもしれない、と勇気をもらった。」「次の世代に同じ思いをさせないような努力を惜しまないこと、そして自分を差別化していくことが大切だとわかった。」など、日本の女性活躍を牽引してきたパワフルな登壇者たちから多くを学ばせていただいたセミナーとなりました。



研究者
のための

研究とライフイベントの両立を支援する

研究補助者制度

募集人数

15

名程度

本学の研究者が、研究と育児・介護等のライフイベントが両立できるよう支援するため、月30時間を上限として大学院生等を研究補助者として配置する制度です。

こんな方がご利用いただけます

本学に在籍する1週間当たりの勤務時間が38時間45分以上の研究者（単身の研究者、またはフルタイム勤務相当の配偶者を有する研究者）で次のいずれかに該当する方

妊娠中の方	小学校3年生までの子どもと同居し、主に養育している方	要介護認定を受けている親族と同居し、主に介護をしている方	その他、これらに準ずる理由のある方 <small>※自分が対象になるかわからない場合は、まずセンターまでご相談ください。</small>
-------	----------------------------	------------------------------	---

募集期間 令和4年7月25日(月)～8月5日(金)
（教職員のみの募集（専任の研究者）はセンターまでご相談ください。）

利用期間 令和4年10月1日(土)～令和5年3月31日(金)
（専任の研究者は令和5年3月31日(金)まで）

利用時間 利用期間中最大 **180** 時間

補助者の募集内容 実験補助、調査補助、データ分析、学会資料や報告書類の作成など

費用 研究補助者の雇用にかかる経費は、男女共同参画推進センターが負担します。研究者の雇用後はありません。研究補助者には給与（時給制）が支給されます。

お問合せ 男女共同参画推進センター

0263-37-3150



本学の研究者が、研究と育児・介護等のライフイベントが両立できるよう支援するため、月30時間を上限として大学院生等を研究補助者として配置する制度です。

また、補助者に本学の学生や大学院生を採用することで、学生のキャリアパスにもつながります。

利用者からは、「子供と過ごす時間を確保しつつ、学会発表や論文発表も進められた。」、補助者からは「研究の大まかな流れやそれに伴う苦労や必要なことを経験することができた。」など、喜びの声をいただいています。

令和5年度はさらに多くの研究者に利用していただけるよう、応募条件等を緩和し、見直しを行います。

信州大学男女共同参画推進センター

<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/article/>